



## ニホンカナヘビ

(2008年5月23日 撮影)

いすみがたけ はる あき み とく  
泉ヶ岳では春から秋まで、よく見られます。特に、  
あたたか くなっ 草がまだ 短 い5月ごろは見つけやす  
いすいすです。

おお せんちめーとる てあし  
大きさは15 c m くらい。手足がなければヘビ  
のようにも見える、長い尾を持っています。舌も蛇  
のように出し入れをします。でも、トカゲの仲間、  
なかま  
ヘビの仲間ではありません。

おな てき お き  
ニホントカゲと同じく、敵に尾をつかまれると切  
に き お うご てき おどろ  
って逃げ、切れた尾はしばらく動いて敵が驚いて  
いるうちに逃げます。切れた尾はまた生えてきます。



しかし、ニホントカゲともま  
ちが い もの みわ  
た違う生き物で、その見分け  
かた お  
方は、カナヘビは尾がとて  
なが ちゃいろ  
長く、また茶色でカサカサし  
ひょうひ くべつ  
た表皮なので区別ができます。  
こんちゅう た  
昆虫やくモを食べます。

尾がとても長い。全長の3分の2くらい。